



「文化財保存活用地域計画」の策定を！

高橋 浩輔（みらい）



Q 当市は豊かな歴史と県内最多の指定文化財を有することから、その保存・継承と活用のために国の法定計画である「文化財保存活用地域計画」を策定すべきではないか。

A 文化財の保護や活用を取り巻く環境が厳しさを増す中、計画策定の必要性は認識しているが、策定にあたっては様々な課題があり、現段階では早急に策定することは考えていない。当面は「歴史文化基本構想」に則り、「第3次総合教育プラン」をアクションプランとして位置付け、施策を推進する。また、基本構想に不足している文化財の防災・減災対策や被災時の対応等については、令和6年能登半島地震を契機に専門家から助言をいただき対策を進めている。

名立区の小水力発電事業の意義は

Q 名立区における民間主導の地域資源を活用した小水力発電事業の意義をどう捉えているか。

A 令和7年に発足した会社は「豊かなふるさと森と水を未来の子どもたちのために活かす」との事業目的を掲げ、「再生可能エネルギーを活用した中山間地域の自立と振興、地域の特性をいかした脱炭素社会づくりへの寄与を目指しており、多様な効果が期待できる。今後も様々な側面的支援に取り組む。



江戸城の北の空、龍と なって君臨する謙信公

牧井 邦生（みらい）



Q 江戸幕府公式の歴史書「後鑑」では、謙信公は足利将軍と同じ紋、すなわち五七桐より格上の菊桐紋を賜ったとされる。これは皇室（場合によっては帝・エンペラー）を意味し、令和7年12月定例会における一般質問の内容を踏まえると、高田城は北極星、龍、エンペラーの3つのシンボルで設計され、お城のサイズも踏まえると中国の紫禁城を念頭に建設されたことがわかる。前回、高田城と江戸城が一对の城であることを説明したが、古代中国の思想で北斗七星の上には北辰が君臨するとされ、ここで北辰は謙信公で、謙信公は龍であることから、江戸城の北の空に謙信公が龍となって君臨し、江戸を守護するというメッセージが込められている。エンタメ業界からは漫画ドラゴンボールの元ネタと聞いているが、街づくりに活かせないか。

A ストーリー、物語性は大切にしたい。歴史資源の活用をお願いしたい。



廃校舎は放置せず、 行政の責任で管理を

宮川 大樹（無所属）



Q 柿崎小学校に統合される予定の上下浜小学校区と下黒川小学校区の児童の通学方法は、スクールバスが適当と考えるが、今後の検討方法と決定時期を聞きたい。

A 登下校の安全確保を最優先にしながら、片道の通学距離が3km以上を目安として、路線バスや鉄道など、既存の公共交通機関の活用を検討し、活用できない場合にはスクールバスの利用を検討する。下黒川小学校、柿崎小学校において、スクールバスによる通学となっている状況も踏まえながら、令和8年8月頃に、保護者、後援会の代表者等で組織する統合実行委員会に通学方法の案を示して決定する予定である。

Q 多くの廃校舎が未活用状態である現状を踏まえると、統合後における廃校舎の利活用について今から検討し、利活用が決まるまで寄り添うべきと考えるがどうか。

A 市長部局と連携して積極的に利活用を検討しており、まずは、行政目的として他の用途へ転用する取組を進めている。行政目的への転用がなされない場合には、地元からの声をくみ取り、校舎やグラウンド等の施設の利活用、施設内の必要なスペースの活用を進めていく。

